

2010.10.10(日)

徳島新聞

手術や救命法学ぶ



パソコンの画面を確認しながら外科手術を体験する参加者＝徳島大学病院

県内小中学生 徳大病院で模擬体験

県内の小中学生を対象にした外科手術模擬体験キッズセミナーが9日、徳島市の徳島大学病院であった。小学4年から中学2年までの40人が、実際の手術や救急救命法などを学んだ。

青い術衣に着替えた参加者は、内視鏡手術シミュレーターで切開部分の縫合に挑戦したり、高周波メスで食用肉を切ったりした。また、遠隔操作で手術できる最新の医療ロボットの見学や、心臓マッサージの講習などもあった。

木岐小6年の大三千風優さん(12)は「ゲーム感覚で面白かった。実際の手術は大変だと思っが、命を助ける仕事はやりがいがありそう」と話した。長時間勤務などから志望者が減り続けている外科医に関心を持つてもらうため、初めて開かれた。